テキスト抜け、SSのトリミングや貼付位置の甘さがありますがご容赦願います。

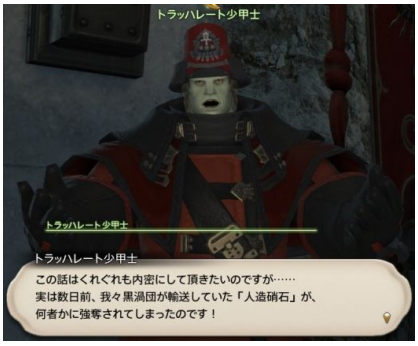
FF14　備忘ログ(PATCH2.2)　蛮族ストーリークエスト

コボルト　編

©2010－2014 SQUARE ENIX CO.,LTD.All Rights Reserved. FINAL FANTASY XIV

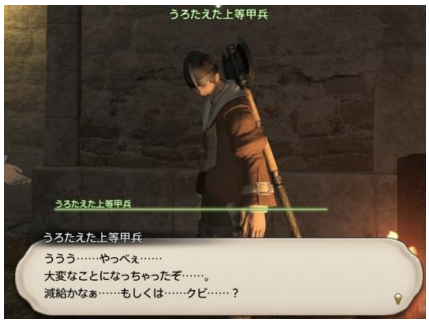
人造硝石強奪犯を追え

トラッハレート少甲士 ： む、貴方は冒険者ですね？　見たところ、かなりの腕とお見受けしますが、実は折り入って、お願いしたいことがあるのです。
この話はくれぐれも内密にして頂きたいのですが……　実は数日前、我々黒渦団が輸送していた「人造硝石」が、
何者かに強奪されてしまったのです！
「人造硝石」は、火薬の原料となるもの。これが大量に奪われたとなると……事態は深刻です。
悪用されれば、大量の犠牲者を出す大惨事となり兼ねません！
しかし強奪した犯人は、未だ不明。軍令部は事件解決に、特務隊士を派遣したのですが、
未だ、犯人の手掛かりひとつ見つかっていないようです。
件の特務隊士は私の昔なじみでしてね。なんとか手を貸してやりたいのですが、私は自分の任務で動けぬ身……。
そこで、冒険者さんに協力してほしいのです！　「スウィフトパーチ入植地」に赴き、当地で調査中の我が友、
「スケートスィス少甲士」に手を貸してやってください。



困り果てた二等甲兵 ： 一瞬……ほんの一瞬、目を離した隙に……　ごめんよぅ……目的地のエールポートも目前だったし、
ついつい、気が緩んじまったんだよぅ！

うろたえた上等甲兵 ： ううう……やっべぇ……　大変なことになっちゃったぞ……。減給かなぁ……もしくは……クビ……？

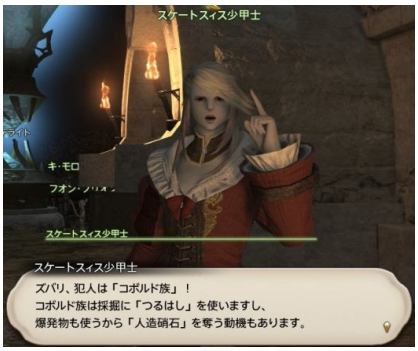


スケートスィス少甲士 ： ううううう、困った……困ったなぁ。これはまさに、迷宮入り必至の難事件ってやつね……。……ん？　どちらさまですか？
えっ？　トラッハレートに頼まれて助力を？　……へぇ、アイツ、なかなか憎いことするじゃない。
アタシは黒渦団特務隊所属のスケートスィス少甲士といいます！
事件の概要は、彼から聞いてますか？　我々、黒渦団がリムサ・ロミンサからエールポートに
陸路で輸送していた「人造硝石」が盗まれたんです。
犯行現場は、まさにこの場所。輸送兵たちが、歩哨も立てずに小休止していた隙に、放置した物資が、ゴッソリなくなったんです。
「人造硝石」はかなりの量だったから、多分、犯行は複数犯。入植地の入口には、門番が常駐していたから、
犯人たちは別経路から侵入、逃走したと思われます。
冒険者さん、よろしかったらアタシと共に、証拠探しを手伝ってもらえないでしょうか？
この集落内に絶対、犯人の残した手掛かりがあると思うの！

スケートスィス少甲士 ： 冒険者さん……えーと、お名前は……　◇◇◇さんっていうんですね。……何か、証拠は見つかりましたか？
えっ？　これが逃走経路と思われる場所に落ちてたですって？　……こ、これはっ！
間違いなく、犯人の残した遺留品ですよっ！
でも、この「いびつな形のピック」ですけど……　なんか形も大きさもヘンテコですねぇ。
どうみても、人が使う道具じゃないみたい……。
って、まてよ？　「人が使う道具じゃない」ってことは、「人以外の者が使う道具」ってことじゃない？
……つまり犯人は、「人以外の者」ってこと！？
◇◇◇さん！　この大きさの道具を使う「人以外の犯人」って、誰だと思いますか？

謎はすべて解けた！　犯人は……
ルガディン族？
コボルド族！

よぉし、分かった！　そうそう、アタシみたいなルガディンが……　こーやってー、使ったりして……って、オイ！
どーみても違いますよね！？　それにさっき「犯人は人以外の者」って言ったじゃないですか！
アタシこうみえて、れっきとした人ですけど！？
ズバリ、犯人は「コボルド族」！　コボルド族は採掘に「つるはし」を使いますし、
爆発物も使うから「人造硝石」を奪う動機もあります。
ふふふ、ネタはあがったなっ！　よーし、コボルド族について詳しい仲間と連絡をとって、犯人の足取りを追いましょう！
外地ラノシアの「キャンプ・オーバールック」にいる、ブルーエイディン少甲佐殿が適任かもしれませんね！
あそこは、対コボルド族防衛の前線基地。そこに詰める少甲佐殿は、奴らの行動や生態を熟知しています。
話を聞けば、きっと有力な情報が得られるはず！
そうと決まれば早速、キャンプ・オーバールックにしゅっぱーつ！　……もちろん、ついてきてくれますよね？　◇◇◇さん！



ブルーエイディン少甲佐 ： なんだぁ？　俺は今、忙しいんだよ。とっ捕まえたコボルド族から、大事な情報を聞き出してる最中なんでな。

捕縛されたコボルド族 ： おのーれ　はなーせ！　縄　とーけ！　オレーのナカーマ　黙っちゃ　いねーぞっ！

ブルーエイディン少甲佐 ： うっせぇ、モグラ野郎！　お前らコボルド族が企んでる「計画」とやらを、さっさと吐いちまいな！

捕縛されたコボルド族 ： 「ケイカーク」？　なんのこーと？　オレ　しらーん！

ブルーエイディン少甲佐 ： トボけるんじゃねぇ！　最近、ウ・ガマロ武装鉱山が騒がしいみてぇじゃねぇか。
お前らが、何か良からぬことを企ててるのは分かってんだ！

スケートスィス少甲士 ： 少甲佐殿、お久しぶりです！　特殊戦教練の際は、お世話になりました！

ブルーエイディン少甲佐 ： おうおうおう？　誰かと思ったら、スケートスィスじゃねぇか！　キャンプ・オーバールックに何か用か？

スケートスィス少甲士 ： 実はコボルド族について、少甲佐殿に聞きたいことが……　西ラノシアで輸送中の「人造硝石」が、
何者かに強奪された事件はご存知ですよね？

捕縛されたコボルド族 ： しょうせーき　ごうだーつ！？　あちゃー　もうバレたーの！？

ブルーエイディン少甲佐 ： 何っ……！？　てめぇ！　何か知ってんのか！

捕縛されたコボルド族 ： ギクッ！　しらなーい　しらなーいよ！　それに　オレじゃなーい　オレたちじゃないーよ！　アイツーラ　だーよ！

スケートスィス少甲士 ： ……アイツーラ？　あいつらって……誰！？

捕縛されたコボルド族 ： アイツーラは　アイツーラ！　崖下の採掘地にすーむ　ヤツーラよ！

ブルーエイディン少甲佐 ： ……崖下の採掘地？　そういえば、最近、オーバールックの崖下に、コボルド族どもが新しい洞穴を掘り始めたと聞いたが……。

捕縛されたコボルド族 ： ……あんなヤツーラ　関わりたーく　ないーよ！　「第789洞穴団の採掘地」のヤツーラは　サイアークよ！
恐ろしーい！　ブルブルブル……。

スケートスィス少甲士 ： ブルーエイディン少甲佐殿。アタシたち、その採掘地とやらに行ってみます。
恐らく、そこにいる奴らが……強奪犯なのでしょう。

ブルーエイディン少甲佐 ： うむ、スケートスィス、気をつけろよ！　コボルド族はナリは小さいが、かなり手強い相手だ！
それに危険なボムを飼いならし、操ってきやがるからな！

スケートスィス少甲士 ： ありがとうございます！　女神リムレーンの加護あらんことを！　「海が全てを呑み込むまで」！
◇◇◇さん、準備は万全かしら？　コボルド族と一戦交える覚悟で行きますよ！
こういうとき、アナタみたいな冒険者って頼りになるなぁ！

ブルーエイディン少甲佐 ： いいか？　コボルド族をナメるなよ！　奴らは俺たちルガディン族にも負けない剛腕の持ち主。
しかも、ボムを使い、爆破を自在に操る危険な蛮族だ！

捕縛されたコボルド族 ： 「第789洞穴団の採掘地」に　行くつもーり？　やめといたほうが　いいーよ！　ゼッテー　後悔するーよ！　間違いないーよ！

スケートスィス少甲士 ： これは……盗まれた黒渦団の物資……。間違いないわ、やっとみつけた。
やはり犯人はコボルド族……。動かぬ証拠ってやつね。
むっ！？
か、数が多い！　気をつけて、◇◇◇！
かかってきなさいっ！　蛮族なんかに、負けないんだからっ！

リーダーらしきコボルド族 ： ゴメンナサーイ。もう　しませーん！

スケートスィス少甲士 ： ……えっ？

第789洞穴団のコボルドたち ： ゴメンナサーイー。ゴメンナサーイー。

スケートスィス少甲士 ： ……どういうこと？

スケートスィス少甲士 ： ……なんだか、よく分かんないけど、とりあえず物資は返してくれるみたいだし、事件は解決……みたいですね……。
てっきり大乱闘になると思ったんだけど……　コボルド族たちも、敵意はないみたいだし……
……なんか、肩透かしって感じ。
アタシはひとまず、キャンプ・オーバールックに報告に行き、奪われた物資の回収を手配したいと思います。
その間、ここのコボルド族たちに話を聞いてもらえますか？
どうやら、採掘地の奥にいる、「ピックマン789 ギ・グ」って奴がリーダーのようです。じゃあ、よろしくお願いします！

ピックマン789 ギ・グ　：うあ！　ゴ　ゴメンナサーイ！　もうしませーん！　悪気はなかったんでーす！　だかーら　殴ったりしないーでっ！
う……　え？　あ……　は　はーい……。ボクは「ピックマン789 ギ・グ」といいまーす。
この「第789洞穴団の採掘地」の責任者でーす……いちおう。
……え？　「人造硝石」を盗んで　何を企んでいたかーって？　そんな　企むなんーて　めっそーもなーい！
ヒト様にタテつこうなんーて　これっぽっちも思ってませーん！
これにーは　深い深い事情がありましーて……　ボクたーち　どうしてーも　硝石が必要だったんでーす。
あの　その……あちこち探して　ウロウーロしてるうーちに　いつのまーにか　海の方まで　出ちゃいましーて……
硝石ドッサリ　見つけたんーで　ついデキゴコローで……。
ぼ　冒険者さーん　すみませーんが　帰る前に　ボクたちの話を　聞いてくださいませーんか？
お願いでーす　どうかこのとーり！

採掘地の懲りない面々

ピックマン789 ギ・グ　：冒険者さーん　オネガーイ。帰る前に　ボクの話聞いーて。
ボクたーちは　その名ーも「第789洞穴団」。ちなみーに　コボルド族は　番号の数だーけ　洞穴団があって
番号が少ないほうーが　エラーイ　ツヨーイ　カッコイーイ。
洞穴団は　ゼンブーで　789あるーの。ボクたちーは　「第789洞穴団」だかーら　イチバンだーよ！
……下から数えるーと。
そんなボクたちだかーら　鉱山から追い出されーて　この採掘地に　左遷されたーの。
でもココ　なーんも採れなーい　みんなに忘れられたトコーロ。
だかーら　お偉いさーんに　提出しなくちゃいけなーいノルマ　ぜんぜん足りなーい　今月も足りなーいよ……。
グスン……ボクたーち　業務成績　万年最下位なーの……。
冒険者さーん　反省してーる。ボクたーち　もうヒトのもの盗んだりしなーい　約束すーる。
だかーらオネガーイ　ボクたちの仕事　手伝ってほしーい。
「コボルド軍試掘地」にいーる　ほかの洞穴団たちーが　採ったけーど　いらないから捨てーた「クズ鉄鉱」……
きっと転がってーる！　お願ーい　もってきーて！

ピックマン789 ギ・グ　：ボクたーち　朝かーら晩まーで働いて　ヘロヘーロ……。ノルマぜんぜん足りなーい　どうしよーう……。
冒険者さーん　「クズ鉄鉱」まーだ？
あ　冒険者さーん　ありがとーう。今月のノルマにーは　まだまーだ足りないけーど　これでなんとーか　言い訳できーる……。
あ　ちょ　ちょっとまってーよ！　冒険者さーん　オネガイ　もう少し　ここにいてーよ。
これかーら　コワイコワーイ　「ゾ・ガ」が来るーの。
「ゾ・ガ」は　とってーも　エラーイ　コボルド族！　でも　冒険者さーんの方が　きっと強ーいよ。
だからボクたちと　一緒にいてほしーの。
物陰に隠れーて　見守ってほしーいの。冒険者さーんがいれーば　ボクたち　とってもアンシーン。
なんだか強くなった気になれるーよ。

ピックマン789 ギ・グ　：……ヒッ！　きた！　きたーよ！

イケてるコボルド娘 ： え～！　何こ～こ！　キタナ～イ！　クサ～イ！　サイア～ク！

イカしたコボルド娘 ： ゾ・ガさ～まの　ウソツ～キ！　オ・ゴモロ山の火口坑道で　岩盤浴パーティーじゃ　なかった～の？

偉そうなコボルド族 ： うるせえぞー　オマエらー。先に仕事をー　かたづけてー　からーだァー！　オレ様は　忙しいんだよォー！

ピックマン789 ギ・グ ： ……ゾ・ガさーん　こ　こんちにちーは……　よ　ようこーそ　いらっしゃいましーた……。

フューグルマン13 ゾ・ガ ： おうおう　ギ・グじゃねぇかァー。あいかわらーず　小汚ねぇーなァー。
オイオイオイオイオーイ　おかしいなァー？　オレ様の目エー　少々　悪くなっちまったかーなァー？
今月はー　ずいぶんと少ねぇんじゃ　ねぇーのかーなァー？　これじゃァー　ぜんぜん足りねぇぞォー？
いったい　どうなってーるのー？　ギ・グ君よォー。

ピックマン789 ギ・グ ： ご　ごめんなさーい……。これがボクたちーの　精いっぱい　なんでーす……。
朝から晩まーで　一生懸命　働いたんでーす……。

フューグルマン13 ゾ・ガ ： うんうん　そうだよなァー　テメェはよくがんばったァー。よく食べエー　よく寝てエー　よく働くゥー。
労働ってのはァー　健康第一だよーなァー。
でーもよォ……。
寝なけーりゃー　もっと働けるじゃーなーいー！　食べる時間もォー　働けるじゃーなーいー！

ピックマン789 ギ・グ ： そ　そ　そんーなぁ！　ボ　ボクたち　し　し　死んでしまいまーす！

フューグルマン13 ゾ・ガ ： ふぅーん　じゃァー　死ねばいいんじゃーねーのォー？　ギ・グ君よォー　コボルド族はァー　実力社会なのォー。
仕事のできないヤーツに　生きる権利なんてないのよォー。
それにー　テメエが死んでも　オレ様なーんも　困んねぇしー。死んだーら　この洞穴はァー　ゴミ捨て場にするぜエー。
そっちの方がー　ナンボーか役に立つからなァー。

ピックマン789 ギ・グ ： ……そ　そんーな。ご　ご無体ーな……。

フューグルマン13 ゾ・ガ ： いいかァー　ゴミタメのクズテツどもーめエー！　来月はァー　この十倍はァー　用意しておけーよォー！
じゃねぇーと　錬金釜にぶちこんで　溶かしちまうぞォー！
おいー　おまえらァー！　メシ食いいくぞォー　メシィー。
なーんでも　食べーろォー！　その代わーり　オレ様を　楽しませてくれーよォー？　ぐあっはっはっはァー！

ピックマン789 ギ・グ ： ……ひっ　ひくっ……　ふぐっ……　あんまーり　だーぁ……。

ピックマン789 ギ・グ ： ふぐっ……うえっ　うえっ……　働くーのイヤーだ……死んでーも　イヤーだ……。
でも死ぬのーは　もっとイヤーだぁ……。

スケートスィス少甲士 ： ちょっとちょっと、見てたわよ！？　何よ！？　さっきのイカついコボルド族は！？　なんか、すごく偉そうだったけど！

ピックマン789 ギ・グ ： ゾ・ガは「第13洞穴団」っていう　名門洞穴団のリーダーだーよ。ウ・ガマロ武装鉱山で　イチニを争う　偉いヤツだーよ。
ボクたちとは　種族が違うんだーよ……。

スケートスィス少甲士 ： はぁ？　何いってんの、アンタ？　種族が違うって……同じコボルド族じゃない！
つーか、アンタら、あんなこと言われて悔しくないのっ！？

ピックマン789 ギ・グ ： ……は　はーぁ。

スケートスィス少甲士 ： 「は　はーぁ」じゃないでしょ！？　「は　はーぁ」じゃ！！　アンタら、それでも男っ！？
コボルド族って、もっと強くて逞しい蛮族じゃなかったっけ！？

ピックマン789 ギ・グ ： ……は　はーぁ。

スケートスィス少甲士 ： 採掘ノルマだか何だか知らないけど、「チクショウ　あんなヤーツ　いつか見返してやるーよ！」
っていう気持ちには、ならないワケ！？

ピックマン789 ギ・グ ： ……は　はーぁ。

スケートスィス少甲士 ： うおおおおおおおおお！　あーもう！　アンタら、イライラする！　なんか、すげぇイライラする！！
よぉし、わかった！　この黒渦団のスケートスィスさんが、ひと肌脱いであげる！
あのゾ・ガとかいうコボルド族に、復讐するのよ！

ピックマン789 ギ・グ ： え！　そ　そんなのムーリ！　無理だーよ……。

スケートスィス少甲士 ： 無理じゃないっ！　やる前から諦めるなっ！　決めた！　しばらく「第789洞穴団の採掘地」に滞在して、
アンタらのヒネくれ曲がった根性を叩き直す！
そして、アンタらのお望みどおり、あのゾ・ガとかいう奴の鼻を明かしてやるわ！

ピックマン789 ギ・グ ： あ　あのーぅ……　ボ　ボクたち　そんなこーと……　一度も……お願いしーて　なーい……。

スケートスィス少甲士 ： ああん……？　なんか文句ある！？

ピックマン789 ギ・グ ： な　なんでも　ないでーす……。よろしーく　お願いしまーす……。
ううう……なんだーか　大変なことーに　なったーよ。ゾ・ガに復讐したいのーは　やまやまだけーど……
バレたら　ゼッターイ　殺されるーよ……。
ああっ　冒険者さーん　いかないーで！　ボクたーち　見捨てないーでっ！
お願いだーよ！　冒険者さーんも　ルガディンのオネ工ちゃーんと一緒に　ボクたちの　ナカマになってーよ！
……いや、遠慮させてもらいます。
ふぐぅ　やっぱり　ダメなーの？　……わかったーよ　ボクたちだけーで　何とかするーよ。
ボクたーちだって　やればできーる。できるけーど……まだ本気出してないだーけ……　明日かーら　本気だーすよ……。
わかったーよ　手伝うーよ
ホントー？　ウレシーイよ！　冒険者さーんがいれーば　百人力だーよ！
もしかしたら　ホントーに　ゾ・ガに復讐できるかーも！
これでボクたーちは　仕事しなくてーも　すむーよ！　復讐　期待してるーよ！　がんばってーね！　冒険者さーん！

ゾ・ガの野望を挫け

ピックマン789 ギ・グ ： こんにちーは　おつかれさーま！　冒険者さーんの活躍で　ほかの採掘地のコボルド族たーち
大混乱で　お仕事　手につかないみたーい！
だかーら　ボクたーちの　採掘成績のジュンイーも　来月はきーと　万年ピリを脱出できるーよ！
えへへーへ　もしかしたーら　ゾ・ガの鼻を明かすことも　夢じゃないーよ！　がんばってー　冒険者さーん！

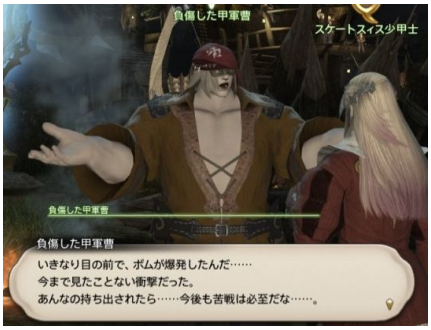
スケートスィス少甲士 ： ……アンタが、がんばりなさいよ！

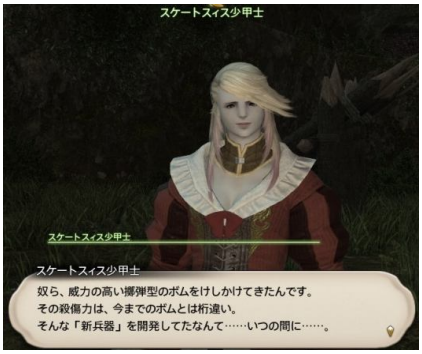
ピックマン789 ギ・グ ： はひっ！　そ　それは……そうだーね。あは　あははははーは……。

スケートスィス少甲士 ： って、それどころじゃないのよっ！　◇◇◇さん、大変なんです！　お願い！　力を貸してください！
先ほど、キャンプ・オーバールックに敵襲があって、大規模な戦闘が行われているらしいの！
……敵は、ウ・ガマロ武装鉱山のコボルド族！
なんでも、奴ら「新型兵器」とやらを持ち出してるみたいで、ブルーエイディン少甲佐率いる黒渦団の防衛隊は、
かなり苦戦を強いられているようなのです！
アタシも黒渦団将校として、キャンプ・オーバールックに戻って防衛隊に加わります！
◇◇◇さんも、後から加勢に来てください！

ピックマン789 ギ・グ ： ……なんーか　たいへんなことーに　なってるーね。ボクたーち　関係ないけーど。
いってらっしゃーい　お土産まってるーよ。

負傷した二等甲兵 ： ……いててて、おのれ、コボルド族のやつらめ。最近、鳴りを潜めていたと思った矢先にこれだ……。
油断したぜ……くっ。





負傷した上等甲兵 ： う、ううううう……　これが……コボルド族の「新兵器」の威力……。

負傷した甲軍曹 ： いきなり目の前で、ボムが爆発したんだ……　今まで見たことない衝撃だった。
あんなの持ち出されたら……今後も苦戦は必至だな……。

スケートスィス少甲士 ： ◇◇◇さん、来てくれたんですね！　でも、一足遅かったみたい。なんとか撃退したけど、見てのとおり被害は甚大……。
奴ら、威力の高い擲弾型のボムをけしかけてきたんです。その殺傷力は、今までのボムとは桁違い。
そんな「新兵器」を開発してたなんて……いつの間に……。
……これって、もしかして、アタシたちのせいかもしれない……。
アタシたちが、ギ・グたちの復讐を肩代わりして、ウ・ガマロ武装鉱山の連中に嫌がらせをしたから……
その報復が、このキャンプ・オーバールックに向けられたんだわ。
……だとしたら、もしかして、あのゾ・ガっていう偉そうなコボルド族が、今回の襲撃を指示したのかも……。
◇◇◇さん、敵の情報を調べてください！　採掘地に戻って、ギ・グから詳しい話を聞いてほしいの。
アタシはここで、しばらく仲間の手当てをしています！

ピックマン789 ギ・グ ： え　なーに？　シンヘイーキ？　ゾ・ガが　シンヘイキのボムーを　つくってーるって？
よくは知らないけーど　ゾ・ガが武装鉱山内で　何かを「ケイカク」してるってウワーサを
ちょこっとだーけ　聞いたことあるーよ。
ボムのことなーら　やっぱ「バ・ゴ」に聞くのーが　イチバーン！　シンヘイーキのことーも　何か知ってるかーも！

アコライト789 バ・ゴ ： ククク……ゾ・ガのつくった新兵器のボムちゃん……？　ゾ・ガのヤツ……「新型錬金釜」をついに稼動させたのーね？
……ククク……面白くなってきーた……ククククク。
「新型錬金釜」は　今までにない　強力なボムを創りだすーの。そのカで　敵対するヒトどもを爆殺し　大出世すーる……
それがゾ・ガの「計画」……ククク　ス・テ・キ……。
えっ？　そんな野望は阻止するーって？　……ククク……そうーね……
ボクちゃんも「新型錬金釜」には　とても興味があるーよ……。
じゃあ「新型錬金釜」のあーる　ウ・ガマロ武装鉱山内の　「第13洞穴団の錬金工房」　行ってみようーよ……
実は錬金工房にこっそり潜入できる　秘密の抜け穴があるんだーよ。
ボクちゃんーの　錬金工房のころのトモダーチの　「ガ・ジ」っていう　ナカーマがいるかーら
そいつに話せーば　通してくれるーよ……。
じゃあ準備するから　先に行っててーよ……　「ガ・ジ」はアイアンレイクの北　鉱山入口の脇にいるーよ
まってーね……新型ボムちゃぁーん……。

アルケミスト13 ガ・ジ ： しーっ！　声が大きいーよ！　ハナシーは　バ・ゴからきいてるーよ。
「第13洞穴団の錬金工房」に　行きたいんだーろ？
この「排気管」を通れーば　研究室にいけるーよ。でも　武装鉱山のヤツラにーは　ナイショ　ナイショーよ！
研究室に　いくーの？

アコライト789 バ・ゴ ： ……ククク……「新型錬金釜」ちゃんを暴走させるーよ。でもまーだ　もうちょっと時間がかかーるよ……。
ククク……なんだーか　ソトが慌しいみたーい……。研究所の入口に行って　敵がこないか見張ってきーて。
敵がやってきたら……やっつけて　足止めヨロシーク！

アコライト789 バ・ゴ ： ククク……準備できたーよ……。
ククク……なんだーか　ソトが慌しいみたーい……。研究所の入口に行って　敵がこないか見張ってきーて。
敵がやってきたら……やっつけて　足止めヨロシーク！

アコライト789 バ・ゴ ： ククク……準備できたーよ……。あとーは　この「スマートボム」ちゃんーを
「新型錬金釜の側壁」に投げこめば任務完了ーよ　ククク……。

アコライト789 バ・ゴ ： ククク……この焼け焦げた香りが……たまらなーい……。ゾ・ガの「新型錬金釜」は故障しーて　しばらく使えないーよ。
これでヤツの「計画」は　しばらく頓挫するーよ　ククク……。
……じゃあ　採掘地に帰るーよ。来たときとおなーじ　「排気管」から外に脱出すればいーよ。ク……ククククク……。

アコライト789 バ・ゴ ： この排気管の「脱出地点」から外に脱出すればいーよ。ボクちゃんは一足早く　採掘地に帰ってるーよ。ク……ククククク……。

ピックマン789 ギ・グ ： 冒険者さーん　まってたーよ！　スゴイ　スゴーイ！　ゾ・ガの「新型錬金釜」を故障させるなんーて

スケートスィス少甲士 ： ◇◇◇さん、どうもありがとう！　これでしばらくは、キャンプ・オーバールックも、奴らの「新兵器」の脅威に怯えずにすみます。
よぉし！　これからも、どんどん嫌がらせして、武装鉱山の悪いコボルド族を、懲らしめてやりましょーっ！
うおお、燃えてきたーっ！

アルケミスト175 ビ・ビ ： ギ・グっ！　アナタ　何やってる～の！？

ピックマン789 ギ・グ ： ビ　ビ・ビっ！　ひさしぶーり！

スケートスィス少甲士 ： ……お、女の子？　コボルド族の……？　ど、どちらさま？

ピックマン789 ギ・グ ： 紹介しまーす　カノジョーは　「ビ・ビ」っていうーの。ボクーの　幼馴染なーの。

アルケミスト175 ビ・ビ ： ギ・グっ！　「新型錬金釜」が何者かに故障させられ～て　鉱山内は　蜂の巣をつついたように大騒ぎ～よ！
……犯人はアナタた～ち……そうで～しょ？

スケートスィス少甲士 ： 女の勘は……鋭いわね……。

アルケミスト175 ビ・ビ ： ゾ・ガは　頭から湯気が出るくら～い　カンカン～よ！　「絶対に犯人を探し出して　強酸性プールに沈めてやるぅー！」
……って　息巻いてた～わ！

ピックマン789 ギ・グ ： ええっ！？　なにそれコワーイ……。

アルケミスト175 ビ・ビ ： ねぇ　ギ・グ　こんなことして何になる～の？　ゾ・ガにいくら嫌がらせした～って
アナタの地位は高くならない～わ！　今すぐやめるべき～よ！

ピックマン789 ギ・グ ： うん　じゃあ　やめーる！　嫌がらーせ　やめーる。

スケートスィス少甲士 ： ちょ、ちょっと！　何言ってんのよ！？　今さら引き返せると思ってるのっ！？
アンタも男なら、決めたことを最後までやりなさいよっ！

ピックマン789 ギ・グ ： うん　じゃあ　やーる！　嫌がらーせ　これからーも　がんばーる。

アルケミスト175 ビ・ビ ： ……なん～で　アナタはいつもそうな～の？　周りに流され～て　他人に頼ってばか～り……　自分ってものが　ない～の？

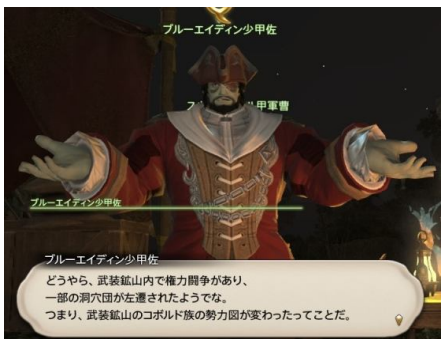
ピックマン789 ギ・グ ： ごめーん　じゃあ　やめーる！　ビ・ビの言うとおーり　嫌がらーせ　やめるかーら……
だかーら　ビ・ビ　オネガーイ！　ボクたちを　助けーて！

アルケミスト175 ビ・ビ ： ……もう　知らない～っ！

ピックマン789 ギ・グ ： ビ・ビーっ！　まってー！　……ボーク　何か悪いこと……いったかーな？

鉱山に咲く花

スケートスィス少甲士 ： ◇◇◇さん、聞いてくれます？　今までアタシたちが嫌がらせしてきた、ウ・ガマロ武装鉱山のコボルド族なんですけど……。
どうやら思った以上に、話が大きくなってるみたい……。「第789洞穴団」の復讐しようとしているゾ・ガが、
とんでもない「計画」を立ててるみたいなんです。
その件について、ついさっき、キャンプ・オーバールックのブルーエイディン少甲佐から、
話があるって召集命令を受けたんだけど……。
◇◇◇さんも、もはや当事者……。すみませんが、キャンプ・オーバールックに行って、彼の話を聞いてきてくれませんか？



ブルーエイディン少甲佐 ： おお、良く来たなぁ！　まったく……スケートスィスめ。アイツはきっぷが良くて、頼もしい奴なんだが、
ついつい暴走しちまうのが玉に瑕だよなぁ。
実は、お前たちがここに来る少し前から、俺たち「紅燕陸戦隊」は、ウ・ガマロ武装鉱山に妙な動きがあることを察知していたんだ。
どうやら、武装鉱山内で権力闘争があり、一部の洞穴団が左遷されたようでな。
つまり、武装鉱山のコボルド族の勢力図が変わったってことだ。
結果的に権力を握ったのが……「ゾ・ガ」といったか？　そう、お前たちが「第789洞穴団」のコボルド族どもと、
ちょっかいを出している相手だよ。
奴は配下の洞穴団に指示して、硫黄や硝石、青燐水などを大量に集めている。……いずれも、ボムの製造や育成に欠かせない素材だ。
おそらく、例の「新型錬金釜」を可動させ、大量のボムを生み出し、総攻撃に出るつもりだろうな。
これが「計画」ってやつの正体だろうさ。
そこで、お前たちには引き続き、ゾ・ガに対する嫌がらせを続け、時間を稼いでほしい。
俺たちはその間に態勢を整え、いざという時に備えるからよ。

スケートスィス少甲士 ： ◇◇◇さん、どうでした？　……なるほど、武装鉱山でそんな動きが……
ということは、いよいよゾ・ガの奴らも本気ってことね。
そうとなれば、もう容赦はしないわ！　これからも、エグい嫌がらせをして時間稼ぎ……
いえ、ゾ・ガの「計画」を粉砕してやりましょうっ！

ピックマン789 ギ・グ ： ぼ　ぼ　冒険者さーん！　お願いしまーす　助けてくださーい！

スケートスィス少甲士 ： ……どうしたの？

ピックマン789 ギ・グ ： ビ・ビが……幼馴染のビ・ビが　ここにくるはずなのーに　だけーど　もう半日たっても　こないーの！
もしかしたーら……何かあったのかーも……。
ビ・ビ　確か「コボルド軍試掘地」に寄るって　いってーた！　冒険者さーん　お願いしまーす！　ビ・ビの無事を　確認してきーて！

スケートスィス少甲士 ： ……お前がいけよ！
でも、いい機会かも……。ビ・ビって娘は、ゾ・ガの「計画」について詳しいはず。
彼女を探して、話を聞いてきてもらえませんか？

コボルド・アウトロー ： なんーだ　てぇーめぇ！　やろうってのーか！？
いーま　いいとーこ　なんだーよ！　邪魔すんーな！

アルケミスト175 ビ・ビ ： ああ　ありがとうございまし～た！　……あっ　アナ～タは……　ギ・グの採掘地にい～た　冒険者さんです～ね？
試掘地のゲンバ～に　鉱物の確認に来たのです～が　荒くれた鉱夫たち～に　絡まれてしま～って……。
でもよか～った　コレが無事で……ってあれ？　あれあ～れ！？
な　な～い　ないな～い！　大切な「改良設計図」がな～い！
どうしよ～う……アレを失くした～ら　ゾ・ガに殺され～る……。
ぼ　冒険者さん　お願いで～す！　落とし～た「改良設計図」を　探してくださ～い！
落としたの～は　この試掘地の周辺だと思いま～す……。

アルケミスト175 ビ・ビ ： しくしくし～く……どうしよ～う……　アレを失くした～ら　ゾ・ガに殺され～る……。
ああっ！　「改良設計図」！　ホン～トに　ホン～トに　ありがとうございま～す！
なん～て　お礼を言ったらいい～か！
……はい　私は武装鉱山に住むコボルド族で～す。私の所属する第175洞穴団は　それほど地位は高くないですけ～ど
昔から錬金術師の集団とし～て　鉱山では老舗なんで～す。
だか～ら　私もゾ・ガの「計画」の手伝いをしていま～す。でも本当は……あんなヤ～ツの　手伝いなんかしたくな～い。
錬金術師に～も　なりたくなんてなか～た……。
私が本当になりたいもの～は……　……ギ・グのお嫁さ～ん……キャッ！　言っちゃった　言っちゃっ～た！　ハスガシ～イ！
でも　アナ～タも　知ってるで～しょ？　ギ・グたち「第789洞穴団」の　あの体たら～く……
みんなにバカにされ～て　でもヘラヘラ笑って～て……。
もう　悔しく～て　恥ずかしく～て……。幼馴染だってこと～も　鉱山の皆にはナイショにしてる～よ。
でも信じて～る……ギ・グがいつか私を迎えに来てくれる～て。
冒険者さ～ん　どう～か　ギ・グの根性を叩きなおし～て！　そう～だ　この「ギ・グ宛ての手紙」をもって～て！
……き～っと　ギ・グの役にたつか～ら！

ピックマン789 ギ・グ ： ああ　ビ・ビ……ダイジョーブかーな……　とてーも　シンパーイ……。
ぼ　冒険者さーん！　ビ・ビは無事だったんですーね？　よかーた　よかーたーよ！　ううううう。
ボクーの必死の願いーが　通じたーよ！
ん？　これーはなーに？　「ギ・グ宛ての手紙」……ふむふむ　ふーむ……。こ　こ　これーは！？
ゾ・ガが造ろうとしてーる　「新型錬金釜」の構造図だーよ！　これがあれーば　釜の仕組みとか　まるみーえ！
これ　さっそーく　バ・ゴに渡しておくーよ！　そしーて　「新型錬金釜」について　研究するーよ！
もちろーん　研究するのーはボクじゃなくて　バ・ゴだけーど。……ありがーと　冒険者さーん。

スケートスィス少甲士 ： 話は聞かせてもらいましたよ！　コボルド族の女の子は、無事だったようですね。よかった……。
ふむふむ……その娘がそんなことを……。……まったく、ダメな男に惚れるなんて、そのビ・ビって娘も、つくづくダメな子ねぇ……。
でも女って、どーしょもないダメ男を見てると、「なんとかしてやんなきゃ！」って思っちゃうもんですよね。
……母性本能ってやつかなぁ。
それにしても、ビ・ビが書いた「ギ・グ宛ての手紙」って、もしかしたら、ゾ・ガの「計画」を挫くための、
かなり重要な手掛かりになるんじゃないかしら！？
よぉし！　アタシも俄然、ヤル気でてきたっ！　◇◇◇さん！　これからも嫌がらせ、ガンバリましょーっ！

クズテツどもの挽歌

ピックマン789 ギ・グ ： ぼ　ぼぼ　冒険者さーん！　大変なんでーす！　え？　何が大変かーって……？
それーが　ボクにもよくわからないけーど　大変なんでーす！
さーっき　幼馴染のビ・ビが　採掘地にやってきたんでーす。なんだーか　すごーく慌てた様子で
「大変なの～よ！　早く逃げ～て！」って　言ってましーた！
冒険者さーん　お願いしまーす。ビ・ビの話を　聞いてきてくださーい！　たぶーん　まだこの採掘地に　いるはーず！

アルケミスト175 ビ・ビ ： ぼ　冒険者さ～ん！？　なんでアナタ～が……早く隠れ～てっ！　ここにいるところ～を　アイツに見られた～らっ！
……はっ！

フューグルマン13 ゾ・ガ ： オウオウオウオーウ！　なんだァー　てめぇーはァー？　オレ様の土地にィ　何か変なヤーツが　紛れこんでるなァー？

イケてるコボルド娘 ： うわ～っ　ヒト～よぉ！　ヒトがい～るぅ～！　ヒトのメス～よぉ！　ブッサイク～！

フューグルマン13 ゾ・ガ ： やっとォー　シッポをつかんだーぜェー！　テメェだろォー？　このオレ様の偉大なーる　偉業をォー
イチイチ邪魔してくれーた　クソヤロウはァー？

スケートスィス少甲士 ： やばっ！　みつかった……っ！

ピックマン789 ギ・グ ： ひっ……！　ゾ……ゾ・ガ……！

フューグルマン13 ゾ・ガ ： ギ・グ　てめェ……　クズテツの分際でェ　今までずいぶんーと　ナメたマーネを　してくれーたじゃねぇーかァ……！

ピックマン789 ギ・グ ： ゾ　ゾ・ガ　ち　違うんーだ……！　これーは……。

フューグルマン13 ゾ・ガ ： うっせェー！　証拠はあがってーるぜェー！？　ヒトと手を組んーでェ　コボルド族を裏切るたァー
覚悟は　できてんだろーなァ……。

ピックマン789 ギ・グ ： ち　違うんだーよ！　ボ　ボクーは　コボルド族を裏切ったんじゃなーい……　たーだ　この状況かーら　抜け出したくーて……。

フューグルマン13 ゾ・ガ ： うっせェー！　テメェーら全員　皆殺ーしだァー！　爆殺ゥー　生き埋めェー　逆さ吊りィー
ぐひひ　こんだーけいりャー　いろいろな実験が試せるーぜェ！

アルケミスト175 ビ・ビ ： ゾ・ガ！　やめ～てっ！

フューグルマン13 ゾ・ガ ： おっとォ　誰だーと　思ったらァー　錬金術師のネェちゃーんじゃねぇーかァ！
このゴミタメーに　こんなカワイコちゃーんがいたとはなァー。

アルケミスト175 ビ・ビ ： ギ・グに　悪気はなかった～の！　お願いしま～す！　堪忍してあげ～て！　代わりにアタ～シが　なんでもするか～ら！

ピックマン789 ギ・グ ： ビ・ビ！

フューグルマン13 ゾ・ガ ： なんでーもする……だーとォ？　ぐひひひ　いってくれーるねェ　カワイコちゃーん！　気の強ーいオンナーは　好みだぜェー。
テメェーは　オレ様の偉大なーる「計画」にィー　なくてはならなーい　錬金術師でも　あるしなァー。
ガッツリ働いーてもらうぜェ　公私ともになァ　ぐひひー。
さァ　いくーぜ　カワイコちゃーんよォー！

アルケミスト175 ビ・ビ ： ギ・グッ！　まってるか～ら……　アタ～シ　アナタが助けに来てくれる～の　まってるか～ら！

ピックマン789 ギ・グ ： ビ・ビィィィィィ！！

スケートスィス少甲士 ： あー、バレちゃったかー。それにしても……ゾ・ガのヤロー、許せない！　あのコボルド族の子……心配だなぁ。

ピックマン789 ギ・グ ： ううううううーう……　ビ・ビ……ビ・ビィー……！　ひどーいよ……ビ・ビは　何も悪ーくないのーに……。

スケートスィス少甲士 ： ……ゾ・ガに、アタシたちとアンタたちの関係がバレた以上、きっと奴は、全力でこの採掘地を潰しにかかってくる。
あ～あ、嫌がらせもここまでかぁ……。

ピックマン789 ギ・グ ： 採掘地を潰されるだけなーら　まだマシだーよ……　殺されーる　ボクたち　確実に殺されーる！
ここにいるみんーな　皆殺しにされーる……。

スケートスィス少甲士 ： じゃあ、もう後戻りはできないわね……。残る道はひとつだけ……ウ・ガマロ武装鉱山に討って出る！
攻撃は最大の防御！　ゾ・ガと全面対決よ！

ピックマン789 ギ・グ ： えええー！？　むり！　ムーリ！　無理無理無理無理無理無理無理無理無理無理無理無理無理！！
無理だーよ！　そんなーの！

スケートスィス少甲士 ： 無理無理って……いい加減にしなさいよねっ！　第一、これはアンタたちの戦いでしょ！？
幼馴染がゾ・ガにヒドイ目にあわされてもいいの！？

ピックマン789 ギ・グ ： ……でも　でーも　ゾ・ガ　コワーイ　殺されーる……　死ぬのやーだ……それーに　採掘地のみんなだーって……。

ダストマン789 ボ・ズ ： あははーは　話は聞いたどー！　アイツラ　ムカつくどー！　やっつけたいどー！
ギ・グー！　オイラ　アンタに命をあずけるどぉー！

ダストマン789 ボ・ブ ： ワガハイの分析によるーと　作戦は……　100パーセント　成功すーる　もしくは失敗すーる……
どうせ殺されるなーら　これは賭けるべきかーと……。

クラフトマン789 ボ・グ ： ギ・グ氏　ビ・ビ氏を助け出したーら　ソレガシにーも　彼女を紹介してほしいですーぞ！
できたら胸の大きな　カワイーイ女の子を……。

ピックマン789 ギ・グ ： み　みんーな……。

スケートスィス少甲士 ： さぁギ・グ、あとは「第789洞穴団」のリーダーである、アンタが決断するだけよ。
……言ったでしょ、これはアンタたちの戦いなんだから。

ピックマン789 ギ・グ ： ボクたちーの　たたかーい……。……わかったーよ……やってやるーよ……。ビ・ビ　まってーて　絶対に助けるかーら……！

スケートスィス少甲士 ： よく言ったっ！　アタシと◇◇◇さんは、「ウ・ガマロ武装鉱山」に正面から乗りこんで、
各地に爆弾を設置しつつ、敵をひきつけるわ。
その間にアンタは……　例の排気管から、第13洞穴団の錬金工房に潜入し、「新型錬金釜」に爆弾を設置するの、とびきり特大のね！
名づけて「武装鉱山まるごと大爆破大作戦」！！　男の見せどころよ、ギ・グ！
この戦いは誰のものでもない、アンタの戦いなんだからねっ！

ピックマン789 ギ・グ ： ううう……は　はぁーい……　で　でーも　やっぱり　コ　コワーイ……　コワーイ　コワーイよぉ……。

アコライト789 バ・ゴ ： ククク……話は聞いたーぜぇ。「武装鉱山まるごと大爆破大作戦」なんて……
チミら　イカース！　ゾクゾクするーぜぇ……ククククク。
以前……チミがもってきた「ギ・グ宛ての手紙」のおかげで　「新型錬金釜」ちゃんの構造は　丸ハダカ……ククク。
どこを爆破すれば効率的に破壊できるか　完全に把握してるーぜ。
そんでもって　ギ・グに持たせるのーは……　ボクちゃんーの　大切なボムちゃんコレクションの中でーも
一番のナイス・バディなお転婆娘……その名も69号ちゃーん！
69号ちゃんが爆発したら……「新型錬金釜」どころか……　鉱山全部が吹き飛んでもおかしくないーよ……
ククク……ククククク……ククククククク……。
チミらにーは　この「リムペットボム」ちゃんをやるーよ。見た目はカワイくーて　ちょっと爆破は小粒だけーど……
誘爆したら　なかなかの威力だーぜ……ククククク……。

スケートスィス少甲士 ： オッケー！　この周辺の「リムペットボム」は設置完了ね！　じゃあ、次の設置場所である、鉱山の奥へ行きましょう！

スケートスィス少甲士 ： これで手持ちの「リムペットボム」は全部、設置終了っと！　……ギ・グの方は、首尾よくいってるかな？
合流するから、錬金工房に通じる扉の前に行きましょう！

スケートスィス少甲士 ： 目的の錬金工房は、この扉の向こうね！　扉の鍵は、さっき見張り番をブッ倒して奪っといたから！
さぁ、早く第13洞穴団の錬金工房に行きましょう！

ピックマン789 ギ・グ ： あっ　冒険者さーん　ご無事でしたーか。こっちーは……えーと　うーんと……　ここにこれーを　こうやーって……。
あ　ハイ！　いま　終わりましーた！　バ・ゴに言われたとおーり　「新型錬金釜」の弱点らしき場所に
69号ちゃんを設置しましーた！
……これーで　鉱山から脱出しーて　離れた場所で　起爆スイッチを押せーば……
「武装鉱山まるごと大爆破大作戦」は完了でーす……多分。
冒険者さん　脱出しましょーう！　スケートスィスさんが　排気管の前にいまーす。
さぁ　早ーく！　ゾ・ガに出くわしたら……タイヘーン！

スケートスィス少甲士 ： ギ・グは「新型錬金釜」の爆弾設置、終わったのね！？　じゃあ早く逃げましょう！　こっちですっ！　早く、早くっ……！

ピックマン789 ギ・グ ： はやーくっ……！　採掘地に　もどりましょーう！

フューグルマン13 ゾ・ガ ： ギィィィィ・グゥゥゥゥゥゥ！！　栄えある伝統の第13洞穴団を率いーるゥ　このオレ様ーがァ
ここまでコケにされたのはァ　生まれて初めてだぜェ……！
何万回ボムで爆殺してーも　飽きたらねェー！　かかって　こいーよォ……　そのバカ面を　徹底的に採掘してやーるゥ！

ピックマン789 ギ・グ ： 冒険者さーん　手を出さないでくださーい。ここはボクーが……。
だって　これーは……。ボクーの……みんなーの　戦いだかーら……。

フューグルマン13 ゾ・ガ ： ぐおおおおおおおッ！

ピックマン789 ギ・グ ： い　イターイ……イターイよぉ……　ふぐっ……ふぐぐぅーっ……。

フューグルマン13 ゾ・ガ ： まだまだァー！　オレ様の怒りーは　こんなもんーじゃ　おさまらねェー！！

ピックマン789 ギ・グ ： もぅ……イヤだーよぅ……　イターイ　イターイのイヤだーよぅ……　死んじゃうーよぉ……。

フューグルマン13 ゾ・ガ ： むしろ死ねーッ！　死ねーッ！　このッ！　このッ！　このぉーッ！　コボルド族の面汚しィ！　最底辺のクズテツがァァ！

ピックマン789 ギ・グ ： ううううう……。

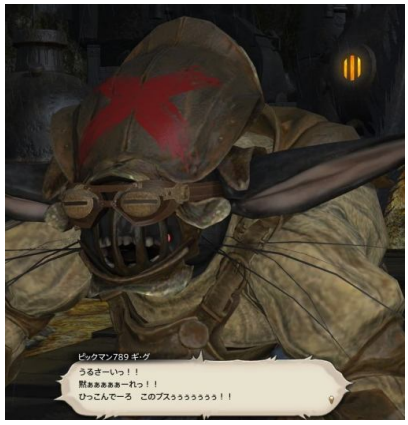
フューグルマン13 ゾ・ガ ： はぁはぁはァ……　てめェ……まだ起きあがるーかァ……　しぶてエー　しぶてエーぞォー……！

アルケミスト175 ビ・ビ ： やめ～てっ！　ゾ・ガっ！！
これ以上　ギ・グを殴らない～でっ！　も～う　気が済んだ～でしょう！？
アナタは　名門洞穴団を率い～る　優秀な指導者でしょ！？　だから　弱いものイジメ～は　やめ～てっ！
最底辺のちっぽけな存在なんか～に　構わない～でっ！！

ピックマン789 ギ・グ ： ……さーい。
……る……さーい。

アルケミスト175 ビ・ビ ： えっ！？

ピックマン789 ギ・グ ： うるさーいっ！！　黙ぁぁぁぁぁーれっ！！　ひっこんでーろ　このブスぅぅぅぅぅぅぅ！！



スケートスィス少甲士 ： えっ！？

フューグルマン13 ゾ・ガ ： えっ！？

全員 ： えええええっ！？

ピックマン789 ギ・グ ： 誰も助けてなんーて　頼んでないーんだーよっ！　ボクーは……ボクのたーめに……
……ボクたちのたーめに　戦ってるーんだっ！！
こいーつが何か　わかるーか！？　バ・ゴ特製　誘爆起動ボム！　名づけーて　「14号」ちゃんっ！
ゾ・ガ！！　お前なんーか　屁でもなーいっ！　クズテツの……恐さを思ーい知れぇーっ！！
これーが　ボクたちーの！！　チカラーだっ……！！

フューグルマン13 ゾ・ガ ： な　なな　なななななななななな……ッ！？　オ……オレ様の……「計画」がァー！

ピックマン789 ギ・グ ： うおおおおおおおっ！！

フューグルマン13 ゾ・ガ ： ぐはぁッ！！

ピックマン789 ギ・グ ： 冒険者さーん……　採掘地に……帰りましょーう……。

スケートスィス少甲士 ： ゾ・ガの「計画」をぶっ潰したし、しばらくは、武装鉱山のコボルド族も大人しくなるかな？
きっとキャンプ・オーバールックの皆も、喜んでくれます！

ピックマン789 ギ・グ ： 冒険者さーん　ありがとーう……　ホントーに　ホントーに　ありがとーう……。
まさーか　ゾ・ガをやっつけることができるなーんて……。

スケートスィス少甲士 ： 見直したわよ、ギ・グ！　アンタもやればできるじゃない！　◇◇◇さんも　おつかれさまでした！
ゾ・ガの「計画」をぶっ潰して、ブルーエイディン少甲佐から請けていた黒渦団の任務も完了！
最初はどうなることかと思ったけど……めでたしめでたし！

アルケミスト175 ビ・ビ ： ……。

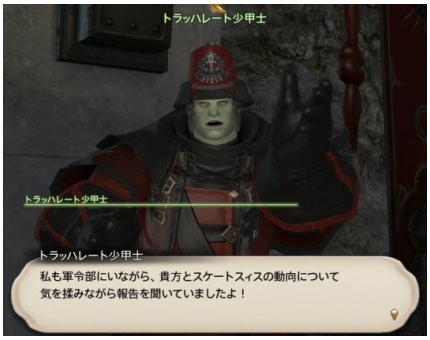
ピックマン789 ギ・グ ： ビ・ビ……。

アルケミスト175 ビ・ビ ： ひど～い……ひど～いよぉ……　ギ・グのバカ～っ！　知らな～いっ！

ピックマン789 ギ・グ ： これーで　これーでいいのでーす……。今のボクにーは　彼女をシアワセにする力は　ないかーら……。でも　でーも……。
……ボクがもっとガンバーって　この洞穴団の番号が　せめて400番台くらいになったーら
ボクはかならーず　彼女を迎えに行きまーす。
そして今までのこーと　全部あやまーる。……そして　コクハクしまーす。ボクの　お嫁さーんに　なってーって……。
だかーら　今は　とりあえーず　この採掘地で　がんばりまーす……　ここにいる仲間と　チカラを合わせーて。
……でも　ちょっと　疲れたーよ。お仕事は　また明日から……
いや　また来月かーら……本気出してがんばるーよ……。

スケートスィス少甲士 ： ……やっぱダメだ、コイツ……。

スケートスィス少甲士 ： アタシはもう少し、この採掘地のコボルド族と一緒にいます。……なんかコイツら、危なっかしいのよねぇ。
う～ん、アタシもダメな奴をほっとけない性分みたい、あはは。



トラッハレート少甲士 ： 冒険者さん！　お帰りなさい！　いやはや、最初は単なる物資強奪事件のはずが、
紆余曲折を経て、ずいぶんと話が大きくなってしまいましたね！
私も軍令部にいながら、貴方とスケートスィスの動向について気を揉みながら報告を聞いていましたよ！
でも、結果的にウ・ガマロ武装鉱山にいるコボルド族の野望を阻止することに成功しました！
これもひとえに冒険者さん、貴方の勇気と実力の賜物です！
黒渦団を代表して、お礼を申し上げます！　お疲れさまでした！